

( 参考様式 5 )

### 事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
三重県 度会町	2 4 2 4 4 7 0 8	1	平成20年度 ~ 平成22年度	平成20年度 ~ 平成22年度
活性化計画の区域				
三重県度会郡度会町 内城田東部地区				

#### 1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 ( % ) B / A	備 考
定住人口の確保	42.29	79.06	186.95	

上表のとおり目標値42.29ポイント（計画期間内(H20~22)の推定転出入割合305.56% - 計画期間前(H17~19)の転出入割合263.27%）に対して、実績値 79.06ポイント（計画期間内の実績転出入割合184.21% - 計画期間前転出入割合263.27%）となり、比較しますと186.95%となり、目標値を大きく下回りました。

しかしながら一方では、計画区域内における計画期間内の実人口は4,161人（H19.3.31）から4,194人（H23.3.31）に増加したところであり、双方に矛盾が生じている状況がみられます。

このため要因について検証したところ、上記転出入割合の元となる転入人口及び転出入人口を、計画当時に考え得る最良の方法であったにせよ、下記の手法で推計したことが、結果として実人口と転出入割合の傾向に大きな齟齬を生じさせたものと考えられます。

計画区域内の集落（平生、牧戸、棚橋、大野木、葛原）ごとの人口を各年度末時点の住民基本台帳から把握。

の年度末データを時系列に比較し、集落ごとの各年度の人口増減を算出。

求めたい年度について、の集落ごとの人口増減データを用い、増加した集落の値を転入者数、減少した集落の値を転出者数として当てはめ、その合計をとって当該年度の推計値とした。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業集落道	農業集落道の改良 L = 1,608.5m		度会町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
度会町	平成20年度	平成22年度	平成23年3月22日
事業の効果			
赤道を中心とした集落道を4mに拡幅したことにより、安定した農業経営を行える環境が整い、あわせて住環境の整備にも貢献しました。			

3 総合評価

<p>目標値は大きく下回りましたが、計画区域内の人口はH19.3.31現在が4,161人に対し、H23.3.31現在は4,194人と増加していることから、先に示しました集落道の拡幅によって、農業経営及び住環境の整備が進んだことにより、人口減少の歯止めにより一定の成果があったものと考えられます。</p> <p>今後は、整備しました集落道を活用した地域づくりを展開することで、さらなる定住人口の確保を図っていきます。</p>
---

4 第三者の意見

<p>計画期間内における町全体の人口が減少傾向にあるなか、計画区域内の人口は増加していることから、本事業に一定の成果はあったものと解されます。</p> <p>しかし、計画期間内の転出入割合がマイナスの値を示していることに対して、実際の人口は減少しておらず矛盾が生じているため、より実態に即した目標値の検討も必要ではないかと考えられます。</p> <p style="text-align: right;">(農業委員会)</p>
--

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。